

上田市合併10周年記念

# 原田泰治が描く ふるさと詩情

Taizi Harada's Lyrical Portraits of Hometowns

2016年9月17日[土]～11月21日[月] 休館日:火曜日

ミュージアム 上田市立美術館  
UEDA SANMUSEUM



上田市真田赤井

## ごあいさつ

上田市合併10周年を記念して「原田泰治が描くふるさと詩情展」が開催されます。

日本全国の失われつつあるふるさとをくまなく取材し、美しい日本の原風景を素朴なタッチで描く画家として広く知られている原田泰治氏の原画展です。

上田市とのつながりは深く、過去にも数回の展覧会が開催されています。それを機会に上田市に足を運び、武石・丸子・真田・上田などを取材し、40号の大作を描き残しています。

今回の展覧会には、そうした作品を展示すると同時に国内・アメリカ・クロアチア・ブラジル・中国など海外で描き上げた100号の大作を一同に展示いたします。

こうした企画展は、今回が初めてであり、新しい原田泰治の世界を観賞していただける素晴らしい機会になることでしょう。

原田氏の描くあたたかで詩情を誘われる素朴画に接することにより、子どもから高齢者に至る幅広い年代の方に、こころの中に残るふるさとの風景、ほのぼのとしたぬくもりや安らぎ、未来に残していきたいもの、私たちにとって忘れてはならない大切なものは何かを考えるきっかけづくりとしてもらうことを目的としています。

それだけに上田市の皆様との出会いを原田氏は楽しみにしています。

## 原田泰治プロフィール

- 1940年 長野県諏訪市に生まれる
  - 1963年 武蔵野美術短期大学商業デザイン科を卒業
  - 1965年 デザインの仕事の合間に伊賀良村[現・飯田市]で過ごした少年時代をテーマに絵を描き始める
  - 1973年 [複十字シールデザインコンクール]で特選を受賞
  - 1980年 第29回小学館絵画賞を受賞
  - 1982年 朝日新聞日曜版フロントに4月より127週にわたり「原田泰治の世界」を連載[1982年4月～1984年9月]
  - 1984年 「原田泰治の世界展」を全国22会場で開催、大好評を博す[～1986年]
  - 1985年 初めて旧ユーゴスラビアを旅行し、素朴画家イワン・ラブジン氏と出会い、交流が始まる
  - 1987年 「ナイフ3人展—原田泰治とユーゴの仲間たち展」を日本各地で開催
  - 1989年 12月から2年にわたりアメリカ合衆国5大都市[サンフランシスコ・シカゴ・ニューヨーク・ホノルル・ロサンゼルス]で展覧会を開催
  - 1991年 同展の帰国記念展を日本各地33会場にて開催[～1993年]
  - 1993年 7月～9月信州博覧会に「原田泰治ふれあい美術館」を出展
  - 1994年 芸術文化功労で長野県知事表彰
  - 1997年 長野冬季オリンピック競技大会文化芸術祭参加「ふるさと四季の風・原田泰治の世界展」開催
  - 1998年 諏訪湖畔に「諏訪市原田泰治美術館」開館[名誉館長はさだまさしさん]
  - 1999年 紺綬褒章を受章
  - 2000年 「日本の童謡・唱歌100選展」を全国20会場で開催[～2001年8月]
  - 2001年 11月からブラジル[サンパウロ・リオデジャネイロ]2会場にて「原田泰治の世界展」開催[～2002年3月]
  - 2002年 中米3か国[メキシコ・コスタリカ・ニカラグア]にて「日本の心」を伝える絵画展、講演会を開催
  - 2005年 「原田泰治とクロアチアの仲間たち展」を全国5会場で開催[～2006年]
  - 2008年 諏訪市原田泰治美術館入館者100万人達成  
郵便事業「ふるさと切手」「ふるさと心の風景」シリーズ全国発売
  - 2011年 財団法人通信協会 第56回前島賞受賞
  - 2013年 福島県郡山市「ビッグパレットふくしま」で原田泰治展開催
  - 2016年 紺綬褒章を受章
- 画集「日本のふる里」[「日本の歌百選」 絵本「とうちゃんのとunnel」など著書多数  
現在はデザインの仕事を手懸ける一方、画家として「ふるさと」をテーマに全国を取材し、消えゆく日本の風景を描き続けている